

2025年5月28日
株式会社岩手銀行

「岩手新事業創造ファンド3号」による投資について

岩手銀行（頭取 岩山 徹）と、いわぎん事業創造キャピタル（代表取締役社長 新里 真士）等が共同で組成した「岩手新事業創造ファンド3号投資事業有限責任組合」は、抗ウイルス薬の研究開発を行う株式会社キノファーマ（以下、「キノファーマ」という。本社：東京都中央区、代表取締役：黒石 真史）に投資を行いましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

キノファーマは、新たなアプローチによる抗ウイルス薬の研究開発を行っている京都大学発のベンチャー企業であり、現在はヒトパピローマウイルス（HPV）によって引き起こされる子宮頸部上皮内腫瘍（子宮頸がんの前がん状態・通称 CIN）と尋常性疣贅（イボ）に対する治療薬の開発において臨床試験が進行しています。

キノファーマの治療薬開発が成功すれば、特に、これまで治療薬がなく侵襲性の高い治療法しか存在しなかった CIN 治療において、新たな治療法を提供することが可能となるなど、女性の QOL 向上の観点からも大きな社会的インパクト創出につながることを期待されます。

岩手銀行グループは、起業家精神溢れる事業者を発掘するとともに、イノベーションに挑戦する企業や起業家の成長と発展を今後も応援してまいります。

記

1. 投資決定先の概要

企業名	株式会社キノファーマ
代表者	代表取締役 黒石 真史
本社所在地	東京都中央区日本橋本町3丁目11番5号
創業日	2005年4月11日
事業内容	ヒトパピローマウイルスを対象とした抗ウイルス薬の研究開発
投資額・方法	非公表・株式取得

2. ファンドの概要

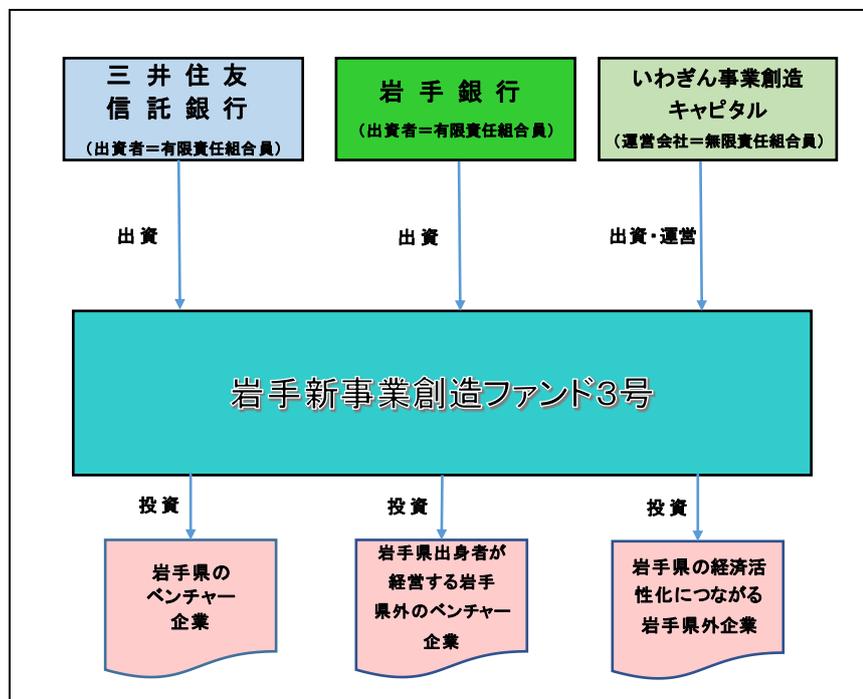
名 称	岩手新事業創造ファンド3号投資事業有限責任組合
設 立 日	2023年6月30日
ファンド規模	10億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル株式会社 有限責任組合員：株式会社岩手銀行、三井住友信託銀行株式会社
期 間	投資期間5年、存続期間10年（但し、必要があれば期間の満了日から1年毎に最長2年間の延長を行うこともあります）

[投資方針]

岩手県の経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い又は事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業の企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図るよう努めます。

- (1) 岩手県のベンチャー企業
- (2) 岩手県出身者等が経営する岩手県外のベンチャー企業
- (3) 岩手県の経済活性化につながる岩手県外企業

3. ファンドのスキーム図



以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

岩手銀行 営業戦略部 今野 電話：019-623-1111（代表）

いわぎん事業創造キャピタル 投資部 佐藤 電話：019-621-1470